

エコドライバーこだわりの必殺技!



おでかけするならば
エコドライブで♪

エコドライバーこだわりの必殺技 1

ふんわりアクセル「eスタート」の術

発進時、5秒間で時速20kmになることを目安にしましょう。

ガソリン約84% / 年の省エネ
約10,700円の節約

エコドライバーこだわりの必殺技 2

加減速の少ない運転の術

遅すぎず、速すぎず、先をみてゆるやかなアクセル操作をしましょう。

ガソリン約29% / 年の省エネ
約3,700円の節約

エコドライバーこだわりの必殺技 3

早めのアクセルオフの術

前方で停止したり、曲がるのが分かったら、早めにアクセルから足を離してエンジンブレーキで減速しましょう。

ガソリン約18% / 年の省エネ
約2,300円の節約

エコドライバーこだわりの必殺技 4

アイドリングストップの術

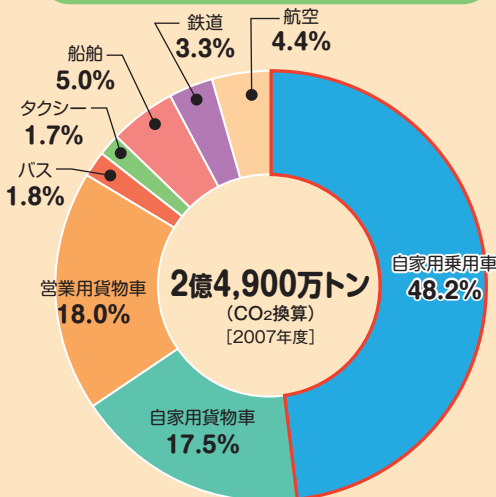
5秒以上車を停止するときは、エンジンを止めましょう。

ガソリン約17% / 年の省エネ
約2,200円の節約

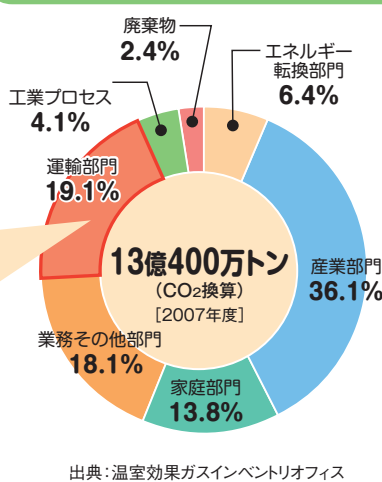


(注) ふんわりアクセル「eスタート」、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフについては、省エネルギーセンター「スマートドライブコンテスト」の操作別燃料消費削減割合による。アイドリングストップについては、30kmごとに4分間の割合で行うものとし、アイドリング時の消費燃料はチーム・マイナス6%「エコドライブ10のすすめ」の「アイドリングストップ」による。年間削減量は年間走行距離1万km(2,000cc普通乗用車)、平均燃費11.6km/ℓで計算。ガソリンの節約額は128円/ℓで計算。

運輸部門におけるCO₂排出量の割合



日本の部門別CO₂排出量の割合



を向上させ、CO₂削減をすることが必要なのです。

エコドライブはなぜ必要なの？

次世代
自動車の
時代が
やってきた!

次世代自動車ってどんなものがあるの?



次世代自動車の種類と特徴

種類	ハイブリッド車	プラグインハイブリッド車	電気自動車
	エンジンとモーターという2つの原動機を併用することで低公害化や省エネ化を図った自動車。“ハイブリッド”とは、「混成」という意味の英語。	家庭用電源から充電ができるハイブリッド車。一般的なハイブリッド車に比べてバッテリーのみでの走行距離が長い。	バッテリーに蓄えられた電気エネルギーを利用してモーターを回転させ、その回転力を車輪に伝えて走行する自動車。
	電気とガソリンで走る		電気のみで走る
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●同クラスのガソリン車に比べて燃費が30~40%高い。 ●量産効果で車両価格が下がる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭用のコンセントから充電できる。 ●充電が十分であればガソリンを使わず“電気自動車”として走れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂排出量が少ない。(ガソリン車より約7割の削減、走行時は排出ゼロ) ●騒音や振動が小さい。

★次世代自動車には、他にも燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車などがあります。

九州電力は、社用車に電気自動車を導入します。

九州電力では、運輸面でのCO₂排出抑制や電気自動車の普及促進を目的に、2020年度までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)を社用車に導入することとしています。

また、家庭用電源などから充電できる電気自動車などに適した高性能リチウムイオン電池の開発や、急速充電器などのインフラ整備についての検討も進めています。



電気自動車と急速充電器

1 km 走行当たりCO₂排出量

(単位:g-CO₂/km)

車両種類	0	50	100	150	200
電気自動車		49			
ハイブリッド車			123		
ガソリン車					193

(JHFC 総合効率検討結果より作成)



矢野さんのワンポイントアドバイス

知っているかどうかで差が出る、クルマに関する節約。

- ★1円2円のガソリン価格の動きに一喜一憂するよりも、エコドライブのアクセルワークを身につける方が効果大。右にありますエコドライブのテクニックに加え、車に無駄な荷物を積まない、エアコンの無駄な使用はしない、タイヤの空気圧は適正に保つなどに気をつけましょう。タイヤの空気圧はガソリンスタンドによっては無料で点検してくれるところも多いので、是非こまめなチェックを。
- ★2009年4月から実施されているエコカー減税とエコカー補助金制度。ハイブリッド車などの次世代自動車は100%減税、通常のガソリン車でも燃費基準の達成度に応じて自動車に関わるいくつかの税金が減税される制度と、それらが買換えの場合に対象となる補助金制度があります。車を買換時期に来ている方はこの制度を利用すると、かなりの節約になります。詳しくは、[国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html)を参照ください。